

# 児童への対応についての自己省察

## -プロセスレコードを活用して-

教育実践高度化専攻 児童生徒発達支援コース 養護教育実践系

杉浦 可奈

健康課題を抱える児童への対応力を向上させるため、保健室での筆者の児童対応について、プロセスレコードを活用した自己省察を行った。

自己省察を客観的に行うために、プロセスレコードのフォーマットを工夫した。児童への対応について自己省察した後、指導教員等からの助言を踏まえ、再度自己省察をする取組を継続した。この取組による筆者の変化を捉えるため、記録したプロセスレコードを KHCoder で分析した。

その結果、問診と視診の実践知、健康課題を推測する力、情報の収集・整理・共有の能力、受容・共感的な対応力の向上がみられた。課題はフィジカルアセスメントの技術、コミュニケーション能力、児童が主体的に健康課題に向き合えるための指導力であった。

本実践研究から、客観的に自己省察を行ったことで、筆者自身の児童対応における課題を捉え、改善につなげることができた。自分なりに、児童への対応力を高めていけたと考える。